

季刊セクシュアリティ

SEXUALITY

人間と性をめぐる教育と文化の総合情報誌

企画編集：“人間と性”教育研究協議会 年5冊(4月増刊号・7月・10月・1月)発行

年間購読料 定価8,580円(税込)
通常号 定価1,650円(税込)
増刊号 定価1,980円(税込)



増刊号 **人権を基盤とした
包括的性教育を!**
~創刊100号をあらたなスタート地点として~

100号突破!!

通常号 **性教育・性教協の「今」**
— 性教協設立40年 —



セクシュアル・ライツ(性の権利)としての 包括的セクシュアリティ教育をともに創る!

性・セクシュアリティは、私たちが健康で幸福に生きる重要な基盤であり、まさに人権の問題と密接に関係する課題です。こうした観点から、包括的セクシュアリティ教育への取り組みは、すでに国際的な潮流となっています。セクシュアリティ教育は、生殖の知識にとどまらず、人間関係を中心に据え、多様性を前提としたジェンダー平等の視点を基盤にしています。本誌は、セクシュアリティ教育を実践していくための理論的基盤を確かなものにし、性の学習のイメージを広げ、すぐれた教育実践を創り共有していくことを目指します!

田代美江子(本誌編集長、埼玉大学教育学部教員)

*定期購読は送料無料で 雑誌の詳細は <http://www.seikyokyo.org/> へアクセス!

■次号 2021年7月号 102号 特集▶「暴力と安全確保」を学ぶ(仮)



◀メール

sexuality@eidell.co.jp

◀最新号のご注文は▶

Amazon▶

『季刊SEXUALITY』で検索



定期購読開始

号より

バックナンバーの注文 号数を記入→

氏名

電話番号

職業

住所(送付・請求宛先)

〒

*定期購読は送料無料でお届けいたします

発行: エイデル研究所

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-9

TEL:03-3234-4641 / FAX:03-3234-4644

人権を基盤とした包括的性教育を! ～創刊100号をあらたなスタート地点として～

総論

科学・人権・自立・共生の理念を貫いてきた『季刊セクシュアリティ』
浅井 春夫

座談会

『季刊セクシュアリティ』のこれまでとこれから
村瀬 幸浩、水野 哲夫、田代 美江子、渡辺 大輔

論考

子どもと時代のニーズに応える性教育 ～実践の背景にある子ども・若者の現実～
金子 由美子

コラム：心に残った号

No.18「性教育のキーワード50」
No.72「性教育実践のためのキーワード51」 大江 亜紀子

No.81「法の中の性、そして性教育」
～長野県子どもを性被害から守るための条例～ 白澤 章子

No.55「今日もおいしい! 性のレシピ」
私の性教育実践バイブルは55号 塚原 百合香

No.45「性教育実践2010」
No.95「性教育実践2020～包括的性教育に向かって～」 今仁 美哲朗

No.1「10代の性はいま」
20年を振り返り、改めて性教育実践とは何かを考える 脇野 千恵

No.32「それってデートDV!? 気づきと防止のために」 西 桂子

No.72「性教育実践のためのキーワード51」 高山 みつる

No.74～86「DV加害者と向き合う 松林三樹夫」 城 英介

No.61「見落とさないで!『性的いじめ』」 村末 勇介

No.59「『いのちの学習』を問い直す」 菊池 準子

対談

嵐の中を歩んで、今。そして未来へ
今仁 美哲朗、越 安子 編集:水野 哲夫

実践分析総論

『季刊セクシュアリティ』100号突破20年と性教協40年の性教育実践
関口 久志

実践を振り返る

性教育の中の「関係性」
～ジェンダーの理解と暴力に関する実践を通して～ 渡辺 大輔

性教育と「いのち」をめぐる教育
～いのちの在りかとしてのからだ～ 良 香織

社会の中の性の観点から
～「家族」に関する実践を通して～ 伊藤 修毅

コラム:『季刊セクシュアリティ』と現場
[実践(中学)]
実践のための確かな情報の源泉 篠原 美香

[実践(高校)]
『季刊セクシュアリティ』、私のおいしい活用法 檀原 宏一

[実践(大学)]
『企画展示『季刊セクシュアリティ』と「これまで」と「その先」
～ある地方都市の大学における、地味で長い
ジェンダー・セクシュアリティを考える取り組みの中で～ 前田 由美子

[実践(大学)]
性教育から遠ざけられている女子学生たち 北原 零未

連載を振り返って
『季刊セクシュアリティ』の連載記事を概観する 水野 哲夫

イギリス連載企画を振り返る 広瀬 裕子

14年間の二つの連載を振り返って 針間 克己

連載企画を振り返って ～これからは望むこと～ 小森 淳子

共に学び、笑い、語り合う力を信じて 富塚 直美

実践で拓く、実践でたたかう 障害児・者性教育の歩みと今後に向けて 永野 佑子

..... ●『季刊セクシュアリティ』創刊100号に寄せて.....

創刊当初のこと、そしてこれから
小宮 明彦

さらに光を強めて
虎井 まさ衛

荒波に耐えて
橋本 紀子

フェイク・ニュースの「防波堤」
加藤 秀一

多彩なつながりに感謝
宮崎 豊久

『季刊セクシュアリティ』からもらったもの
高橋 裕子

30年を振り返って
樋上 典子

常に学びの軸であり続けて
河野 美代子

私の大切な学びの場所
中島 かおり

プライベートゾーンは自分を守る。性教育を守る。
高橋 幸子

性教育・性教協の「今」— 性教協設立40年 —

【論考】

《科学・人権・自立・共生の性教育》と包括的セクシュアリティ教育
田代 美江子

【日本社会の現状をどう考えたらよいか】

■はじめに 及川 英二郎

■日本の政治とジェンダー・セクシュアリティ 望月 衣瑠子

■男性にジェンダー／セクシュアリティをどう教えるか 前川 直哉

■日本軍「慰安婦」問題と向き合うために 加藤 圭木

■「子どもの貧困」の状況 金子 由美子

■国家権力の教育への介入 斎藤 紀代美

■主流秩序を意識した性教育へ 伊田 広行

■「性の多様性」の理解—学びの解体の倫理— 河口 和也

■HIV/AIDSと性教育 池上 千寿子

■障害児・者の性教育 任海 園子

【座談会】

■出会えてよかった! 性教育そして性教協 ～わが歩みを振り返り、今思うこと～
狛 潤一・末友 雅子・菊池 準子・司会:星野 恵

【サークル活動をふりかえる】

■サークル活動の9年を振り返る 島尻 澤一

■静岡サークル 振り返りと今 本間 江理子

■変革の力は学びの中にある 小林 美穂子

■設立当初の思い、今でも「さきたまサークル」 篠原 美香

■思いつくまま 小野寺 真澄

■兵庫サークル 男らしさとの闘い 山崎 比呂志

【声明・年表】

■〈声明〉が出される時、わたしたちは
—“人間と性”教育研究協議会40周年年表にみる「性と人権」
堀川 修平・檀原 宏一

【性教育の「今」】

■性の健康教育と性教協への期待 北村 邦夫

■子どもの権利条約と性教育
～国連・子どもの権利委員会の議論から 平野 裕二

■性教育の経験に学ぶ新型コロナウイルス対策を 岩室 紳也

■性教協に学び、性教協と共に40年
～平和教育、性教育、そしてカウンセリングへ～ 松林 三樹夫

■ゲイ・ムーブメントと性教育 南 定二郎

【座談会】
■私たち性教育ビギナーが性教協での学びをつづける理由
堀川 修平・荻野 雄飛・谷村 久美子・大久保 みなみ